

# 中間期決算のご報告

2024年4月1日から2024年9月30日まで

# 株主通信



# 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚 く御礼申しあげます。

さて、このたび当社第67期中間 期(2024年4月1日から2024年9 月30日まで)を終了いたしました ので、営業概況及び中間期決算の ご報告を申しあげます。

株主の皆様におかれましては、 今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜 りますようお願い申しあげます。

2024年12月

代表取締役 社長執行役員

山﨑 英次

## 連結業績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、世界的なサービス 価格の上昇及び中国での不動産市場低迷等により、依然として 先行き不透明な状況が続いております。一方で日本では、定額 減税等の経済政策及び所得環境の改善による個人消費の持ち直しに加え、インバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに回復しております。

当社グループが属する自動車業界においては、日本では、依然として、一部自動車メーカーの認証不正及び品質問題等による出荷停止により減産影響が継続しております。タイでは、高水準の家計債務に伴う自動車ローン審査厳格化等の影響により、市場は低迷しており、厳しい状況が続いております。中国では、2024年下半期に新型車種の発売が集中する影響により、上期の生産台数は減少するものの、新エネルギー車の国内販売及び輸出台数は好調を維持しております。一方で、日系自動車メーカーは、新エネルギー車への需要拡大の対応遅れ及び低価格の新エネルギー車登場による競争激化等により、生産台数は減少しており、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中長期5か年計画の2年目として、電動化・軽量化に集中した電動化サプライヤーへの転換及び事業構造改革推進による持続可能な企業体質の構築を注力テーマとして取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、22,279百万円 (前年同期比13.2%減)、営業損失は429百万円 (前年同期は107 百万円の営業利益)、経常損失は660百万円 (前年同期は70百万 円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失は1,015百万 円 (前年同期は15百万円の親会社株主に帰属する中間純損失) となりました。

また、当期の中間配当は、1株につき2円とさせていただきます。期末配当につきましては1株につき2円を予定しております。ご理解賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。



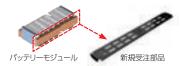
# J-MAX 電動化部品量産開始及び 完全自社制作AIカメラ検査装置の開発

J-MAXは、2024年10月より三菱自動車工業株式会社から発売されたアウトランダーPHEVの部品である「バッテリーモジュール拘束体フレーム(以下、フレーム)」を新規受注し、量産開始しております。フレームは、電池が発熱によって膨張するのを防ぐ役割があり、国内の電動車用バッテリーにほぼ100%使用されている。今後の受注拡大を期待できる部品であります。

当該部品は、製品セットから溶接、検査、払い出しまでロボット及びカメラを駆使し、無人化体制で生産をおこなっており、原価低減に取り組んでおります。

検査工程では自社開発のAI検査装置を取り入れており、AIモデルの構築から、学習用のデータセット、設備への実装等全ての開発工程を自社内で完結させております。当社開発の検査装置では、SPOT溶接時に発生しうる打点位置、溶接部のひび割れ・へこみ等の打点欠陥等が検出可能となっております。

当社は今後も、電動化部品の受注拡大及び競争力の強化に 努めてまいります。





アウトランダー PHEV



# 広州丸順 新HTプレス生産ラインの起動式

2024年5月、広州丸順にて新HTプレス生産ライン起動式が 盛大に執りおこなわれました。起動式では、新HTプレス生産ラ インの安全を祈願し、無事稼働いたしました。

新HTプレス生産ラインは、車載電池シェア世界トップのCATL社向けのバッテリーカバーを製造しており、CATLビジネスの更なる拡大を図る上で、生産能力が大幅に向上するだけでなく、市場の変化に迅速に対応し、顧客のニーズを満たすことが可能となります。今後も成長が見込まれる電気自動車市場において、広州丸順の競争力強化に貢献いたします。

中長期経営計画の注力テーマである「電動化サプライヤーへの転換」に向け、CATL社との関係をより強固にし、引き続き積極的な営業活動の推進により、更なる受注拡大に努めてまいります。

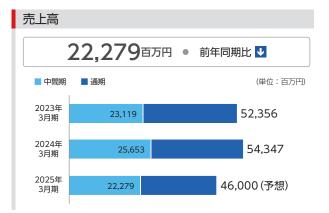


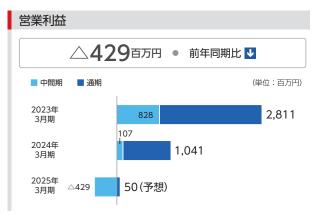
新HTプレス生産ライン



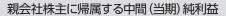
起動式 集合写真

# 連結決算ハイライト



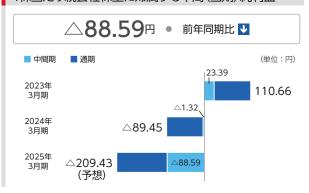




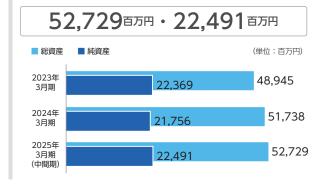




# 1株当たり親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



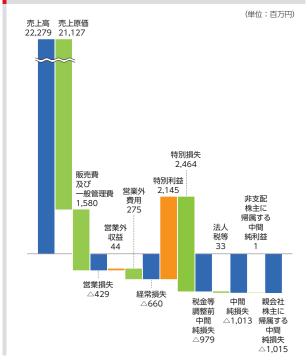
# 総資産・純資産



# 中間連結財務諸表

## 中間連結損益計算書(要旨)

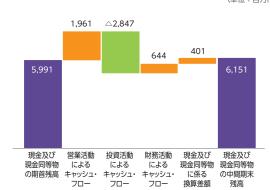
2024年4月1日~2024年9月30日



# 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

2024年4月1日~2024年9月30日

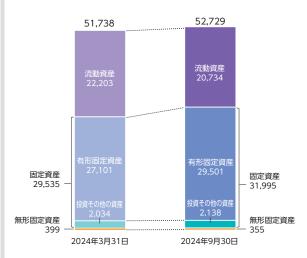
(単位:百万円)



# 中間連結貸借対照表(要旨)

#### 資産の部

(単位:百万円)



## 負債・純資産の部

(単位:百万円)



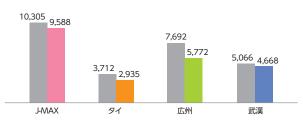
# セグメント別業績

# セグメント別売上高(中間期)

(単位:百万円)







#### 減収減益

J-MAX

J-MAXにおいては、主要客先向け自動車部品の生産減少に加え、金型設備等の販売が減少したことにより、売上高は減少いたしました。また、生産減少及び生産車種構成変化の影響に加え、岡山工場準備費用の増加等により利益は減少いたしました。なお、電動化領域の受注拡大や販管領域の固定費削減及び積載効率向上による輸送費及び生産経費の削減等の収益体質の強化に向けて着実に推進しております。

以上の結果、売上高は9,588百万円 (前年同期比7.0%減)、経常利益は481百万円 (前年同期比43.3%減) となりました。

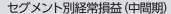
# 減収減益

**タイ タイ・マルジュン**? タイにおいては、主要客先の国内向け自動車部品及び 汎用エンジン部品が減産したこと等により、売上高及び 利益は減少いたしました。なお、経費及び輸送費等の原 価低減活動の推進に加え、前期から継続して取り組んで いる要員適正化及び金型事業の縮小等の構造改革によ り、利益体質改善を図っております。

以上の結果、売上高は2,935百万円 (前年同期比20.9 %減)、経常損失は101百万円 (前年同期は78百万円の経 常損失) となりました。

# 〈 セグメント別売上高構成比率 〉













## 減収減益

広量

広州においては、主要客先の大幅な減産影響等によ り、売上高及び利益ともに減少いたしました。なお、前 期から継続して取り組んでいる生産工場集約及び生産能 力適正化等の構造改革により、固定・変動各領域費用の 削減等を推進し、利益体質改善を図っております。

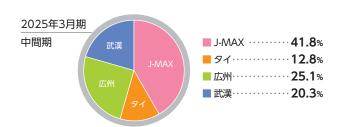
以上の結果、売上高は5.772百万円(前年同期比25.0) %減)、経常損失は446百万円(前年同期は299百万円の 経常損失)となりました。

# 減収減益

武 漢

武漢においては、主要客先の大幅な減産影響が大き く、売上高及び利益ともに減少いたしました。なお、経 費及び輸送費等の原価低減活動に加え、今期から開始し た構造改革により要員適正化及び生産能力適正化等の 取組みを推進しております。

以上の結果、売上高は4,668百万円(前年同期比7.8% 減)、経常損失は264百万円(前年同期は38百万円の経 常損失)となりました。



#### 会社概況

#### 商号

株式会社 J-MAX (英文社名: J-MAX Co.,Ltd.)

#### 創業

1952年7月

#### 設立

1960年1月

#### 資本金

1.950百万円

#### 事業内容

白動車用車体プレス部品の製造 自動車用精密プレス部品の製造 各種金型の設計・製作 治具・検査具の設計・製作

#### 従業員数

308名(連結1,254名)

#### 電話番号 (代表)

0584-46-3191

# 取締役・監査役

代 英次 表 取 締 役 剖山 ₽V 締 役 書山 秀美 役 猪能 篤俊 ₽V 締 Ħ∇ 締 彸 松井 恒夫 好則 取 締 彸 露木 取締役(社外) 竹内 治彦 取締役(社外) 民紀 柳澤 睦美 取締役(社外) 大倉 常勤監査役(社外) 須長 敏彦 水谷 博之 監 査 役(社外) 監 杳 役 ( 社 外 ) 澁谷 英司

#### 執行役員

部山口 英次 社長執行役員 執行役員 青山 秀美 常務 常務 役 員 猪熊 篤俊 執行 松井 恒夫 執行 役 員 上 席 哲郎 上席 執行 役 員 棚橋 席執行役員 森 和行 小見山 執 行 役 肇 埶 行 役 本田 喬之

# 事業拠点



#### 本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

#### 浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

#### 養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

#### 給鹿丁場

三重県鈴鹿市国府町7755 (株式会社日本陸送内)

栃木開発センター

栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台143

ホンダロジスティクステナント棟201号室

#### 岡山駐在事務所

岡山県倉敷市神田1-5-22

#### 広州丸順汽車配件有限公司(子会社) 中華人民共和国広東省広州市

広州経済技術開発区永和経済区 永盛路8号

武漢丸順汽車配件有限公司(子会社) 中華人民共和国湖北省武漢市

東湖新技術開発区光谷一路223号

福建丸順新能源汽車科技有限公司(孫会社) 中華人民共和国福建省福州市

羅源県台商投資区松山片区

#### タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

ベステックス・MM・インディア社(出資会社) SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA, DISTT, ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

# 株式の状況

株式数及び株主数

# 発行可能株式総数

39,000,000株

## **発行済株式の総数** 11,857,200株

(自己株式290,289株含む)

# 株主数

3,138名



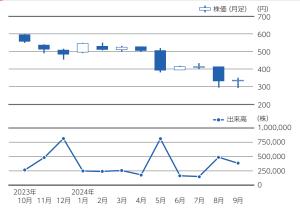


# 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
東プレ株式会社	2,370,700	20.50
今川 喜章	1,022,770	8.84
本田技研工業株式会社	988,950	8.55
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	468,400	4.05
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.21
J-MAX取引先持株会	354,900	3.07
今村金属株式会社	351,000	3.03
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	2.81
株式会社大垣共立銀行	300,000	2.59
有限会社イマガワ	300,000	2.59

(注) 当社は、自己株式290,289株を保有しております。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

# 株価チャート



## 株主メモ

毎年4月1日から翌年3月31日まで
毎年6月
毎年3月31日 毎年9月30日
毎年3月31日
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本 店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の□座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に □座がないため特別□座を開設されました株主様は、特別□座の□ 座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# 技術で夢を

- Make our dreams by Technology -

#### **▼** OFFICIAL SNS

YouTube: @J-MAX3422

X X(I⊟Twitter): @J-MAX3422





